

東京事務所 序文：

本6月号では、当事務所のグローバルなオフィスネットワークからの法律および業界の最新情報をお届けします。今回の選択は、お客様が世界中の事業運営および投資において直面するさまざまな問題に関わってきた当事務所の経験に基づいています。

本号をお楽しみいただけることを願うとともに、現在貴社のビジネスに影響のある事項がございましたらいつでもご相談に応じさせていただきます。



クリス・ベイリー
パートナー、東京

+81 (0)3 4510 5603
cbailey@kslaw.com



ジョン・マクレナハン
マネージング・パートナー、東京

+81 (0)3 4510 5601
jmcclellan@kslaw.com

ディレクトリ コメント：

「ハイスタークスの刑事事件と民事訴訟を同時進行」、「市場の主要プレーヤー」、「経験豊富な元政府任命弁護士を含む」、そして「広範なホワイトカラー案件を取扱う機関による信頼性に優れている」

Legal 500 より**本号：**

トップ記事.....	1 頁
リソース&リンク.....	5 頁
担当チーム.....	6 頁

センシティブなビジネス関連情報の遮断**ロックダウン期間中の不注意による機密情報の漏洩を回避せよ****はじめに**

読者の皆様が 2020 年上半期にこのニュースレターを読んでいるとすれば、リモートワーク、隔離、そしてソーシャルディスタンスが求められるこの時期に、ご自宅のどこかで、おそらく近くにいらっしゃるご友人や一緒に暮らすご家族のそばでこれを読まれているのではないかと推察します。

このような状況下では、なんとか仕事をやりとげようと必死になるばかりで、隣人に企業秘密を洩らさないようにすることなどは二の次ではないでしょうか。しかし、秘密情報を守ることは、皆様のご家族やご友人を守るという意味でも非常に重要なことなのです。無意識のうちに重要な非公開情報の情報発信源となってしまうことや、同じ屋根の下で暮らす人に違法取引をさせることになってしまったり、さらに別の人に情報が渡って違法取引を行わせる結果になってしまふことの危険性を認識しておく必要があります。

会社インサイダーからの情報を不正に流用したために、家族、親友、その他の信頼の置けるアドバイザー（セラピストや警備員も含まれます。）が訴えられてしまった米国における事案が過去にあります。これらの事案では、インサイダーたちは、自分が情報漏洩の原因であることにすら全く気付いていないケースが多くあります。彼らは最後まで起訴されないことや、末端トレーダーに対する訴追資料においてすら直接言及されないこともあります。たとえそうであったとしても、無意識のうちに情報発信源となってしまったことにより、高額な訴訟費用が発生し、私生活上または職場での人間関係や専門家としての評判に傷がつく結果となってしまう場合があります。

ですから、昨年来から続くこれらのニュースレターを読んで頂き、重要な非公開情報を皆様のご友人やご家族から遮断することの大切さを再確認していただければ幸いです。

A. センシティブなファイルを安全に保管

昨年5月、米国証券取引委員会(SEC)がインサイダー取引事件で提訴したのは、長年の付き合いの友人宅で秘密文書のフォルダーを不正に探索して合併案件の存在を知り、合併に先んじて取引をした詮索好きの客人に対してでした。

訴えの内容の認否をしないまま和解に応じた Brian Fettner は、Cintas Corporation の法務責任者 (general counsel) である人物とは、2 人が中学校で出会って以来の友人でした。Fettner は、ある朝、Cintas とユニフォーム製造会社である G&K Services, Inc. の合併案件につき、コードネームのラベルの付いたフォルダーを友人のデスクで偶然に見つけました。フォルダーには合併関連書類と秘密保持契約書のドラフトが含まれていました。SEC によれば、Fettner は少なくともいくつかの文書を読みました。

Fettner はそれを知ったことについて、友人には何も言わなかったようで、その日のうちにモバイル機器を使って、およそ 300,000 ドル分の G&K 株を購入しました。Fettner はその後数日間にわたり G&K 株を買い増し、父親や恋人にも G&K 株を買うよう説得もしました。G&K の株価は 2016 年 8 月 16 日の合併発表後に急上昇し、一連の取引によって 250,000 ドル以上の違法な利益が得ました。

Fettner は本件の和解に応じ、罰金 252,995 ドルを支払いました。Fettner の元妻と元恋人は、Fettner が彼女らの口座を使って本件取引を行ったため、形式上の被告 (relief defendant) とされました。2 名とも取引による利益を利息付きで返還することに同意しました。

Fettner 友人である法務責任者 (general counsel) は起訴されませんでした。SEC が彼を訴追すべきかどうかにつき調査を行ったため、合併後の会社が被った被害と損失は容易に想像が付きまします。

B. 小声で話すこと

2019 年 7 月、米国 SEC はインサイダー取引で 2 人の男を起訴しましたが、これは、このうちの 1 人が、その義兄が進行中の合併案件の調査に関して受けた電話の内容を盗み聞きして得た情報に基づき取引を行ったという事件でした。

Balaji Sundarraj は、SEC の認定事実の認否を行うことなく和解に応じました。Sundarraj は、法律事務所の企業部門のアソシエイト弁護士である義兄と親しい間柄でした。Sundarraj はその姉と義兄の家を頻りに訪問していました。彼らは近所に住んでいました。Sundarraj は、義兄が時々自宅で非公開案件に関する仕事していることを知っており、その案件について知ったことは秘密にすべきであることを認識していました。

2016 年 4 月下旬のある日、Subdarraj の義兄は自宅で仕事をしている際に Opower, Inc. の買収案件に関する電話を取りました。しかし、彼はその会話が隣室にいる Sundarraj に聞こえているとは思いませんでした。その後の数日以内に、Sundarraj は買収計画のことを友人で職場の同僚である David O' Brien に話しました。2 人はその後、公立図書館で会い、追跡される可能性がないと考えたコンピュータを使って Opower のリサーチをしました。その後 Subdarraj と O'Brien は 175,000 ドル超の Opower 株を購入しました。Oracle がその取引を公表した日、Sundarraj と O'Brien は 2

人とも Opower 株を売却し、約 35,000 ドルの利益を得ました。

この 2 人は、提訴の和解として取引による利益および和解までの利息を返還することに同意し、合計 57,850 ドルの民事制裁金が科された結果、見込み利益の 2 倍に相当する金額を支払うことになりました。

SEC によると、法律事務所のアソシエイト弁護士である Subdarraj の義兄は作業中のセンシティブな資料の保護を徹底するための手段をとっていたようですし、政府としても、在宅勤務するすべての者に対して自宅を防音にすることまで求めることができないのは確かです。結局、アソシエイト弁護士自身は起訴されず、Sundarraj と O'Brien に対する SEC の起訴状にも名を連ねませんでした。そうとはいえ、彼は少なくとも証人として SEC の捜査に巻き込まれたのではないかと思います。

多くの会社インサイダーや専門職に就く者が在宅勤務中に友人や家族のそばで仕事をする際に覚えておくべき重要なことは、市場を左右する可能性があると分かっている情報、あるいは家の中にいるその他の者が取引を行いたくなるように掻き立ててしまう可能性のある情報には特別の注意を払うべきであるということです。

C. ペーパーレス化およびプライバシースクリーンの使用

この春は、多くの会社にとって四半期収益が絶望的なものとなるかもしれませんが、この変動の激しい市場においてさえ、少しは光が見えるかもしれません。いずれにせよ、予測実績に関する情報を守ることは、愛する人々をも守ることになります。

9 月に米国 SEC が起訴した 2 人の男については、そのうちの 1 人が Ulta Beauty Inc. の役員である長年の恋人から知った黒字収益の情報に基づき取引をしたという事案です。役員である彼女と、その長年の恋人で、ブローカーであり後に専門リクルーターとなった Geoffrey Homer は、互いの自宅で共に過ごすことがよくありました。このカップルは仕事や企業の実績につきしばしば話をしました。

その関係の過程において、Homer の彼女は、業務上の秘密の電子メールを彼に転送することがありました。例えば、彼女は Ulta の売上や取引先業者に関する非公開情報を含む電子メールを Homer に転送し、彼が彼女のためにそれをプリントアウトしていました。好業績を上げた四半期後に彼女が受信した祝福のための電子メールを Homer に転送したこともありました。そして、何度か、Ulta の人材募集需要に関する非公開情報を Homer に電子メールで送っていました。

Homer は、その情報を、幾度となく幼なじみの Keith Daubenspeck に漏らしていました。Homer から Daubenspeck への情報漏洩は何らかの見返りとして行われたことを証明するため、SEC の訴状は、20 代の頃から Daubenspeck は Homer に金を貸しており、かつては Homer

に仕事を世話したこともあったことを主張しました。SECは誰が不正を働いたのかを捜査したわけですから、本件に関与したすべての人々、特に Ulta の役員の人生に及ぼした影響や被害は容易に想像できるでしょう。

最終的に、SEC の捜査員は Daubenspeck が 150 万ドル超の Ulta の株を購入したと結論しました。Daubenspeck は、2015 年 8 月および 2016 年 2 月の実績発表に先立つ Ulta 株の購入により合計で 111,000 ドルを超える利益を得ました。

2019 年 9 月 5 日、SEC は Daubenspeck と Homer の両者を起訴しました。Daubenspeck は起訴内容の認否をすることなく本件の和解に応じ、111,472 ドル（および和解までの利息）と同額の民事制裁金 111,472 ドルの返還に同意しました。

数ヶ月後の 2019 年 12 月 16 日に Homer も和解し、民事制裁金の支払に応じました。

D. 愛する人とは仕事以外の話をしよう

会社がインサイダー取引や情報漏洩の可能性を発見する場合があります。今年の初め頃、著名な金融会社がロンドン勤務の担当責任者の行為につき内部調査を開始したと報じられたのは、彼女の元恋人である Marc Demane Debih が、彼女のクライアントに関する非公開情報を不正に流用したことを公開廷で自白した後のことでした。

Debih は、別のインサイダー取引の裁判の間に、この担当責任者の仕事に関する一般的な質問をするような素振りをして、彼女から 3 件の買収計画に関する情報を引き出したと証言しました。その後、彼は独自かつ内密に行った調査により、買収者を特定することができました。

金融会社は、2 週間にわたる内部調査の後に担当責任者の潔白を証明したことを公表しました。会社は、Debih の証言に関連するこの担当責任者の行為につき「懸念はない」と特定し、彼女が「会社の全面的なサポートを受け、引き続きチームの価値あるシニアメンバーであり続ける」と述べました。けれども、彼女に落ち度がなかったことを会社に説明するために極めて個人的な情報を会社に開示しなければならなかったことを想像してみてください。彼女と会社はいずれも公に恥をさらすことになってしまったわけですが、それもすべては信用できない恋人のせいだったので。

盗みを働く者はその方法を何とかして見つけ出すものですが、秘密情報を守るというポリシーを持って実践することで、後でこのような痛みに遭わずに済むのです。私たちは皆、自分がきちんと選んで信頼の置ける人と過ごしています。しかし、このような変化の激しい時期に、彼らが株取引という新たな趣味に手を付けないようにする（または、この時期に家庭内で知った情報に基づき取引してはいけないということを彼らに理解させる）ことが賢明です。聞き入れてもらえれば、おそらく問題は回避できるでしょう。

E. SEC 法執行局職員が改めて教えてくれたこと

おそらくこの種の事件のことが頭にあって、米国 SEC 法執行局の共同局長である Stephanie Avakian と Steven Peikin は、2020 年 3 月 23 日に以下のような談話を発表しました。

「このような動的状況においては、法人インサイダーたちは、平時よりも価値のある可能性のある新たな、かつ、重要な非公開情報を常に知得できる傾向にある。」

以前には重要とはみなされていなかった情報が改めて見直され、結果的には新たなリスクの可能性が生じています。

これらの動態の 1 つの結果として、前記の共同局長らは、「今のように大変な時期ではない頃と比べて、より多くの人々が重要な非公開情報へアクセスできる場合がある」と述べています。アクセスが可能な人々、すなわち、取締役、役員、従業員、コンサルタントおよびその他の外部専門家に対し、「情報の秘密を保持すること、および不正な証券取引行為の禁止に従うという自己の義務に十分留意すべきである」と警告しています。無論、今の環境においては、インサイダー取引は企業秘密が関係する数あるリスクの 1 つにすぎませんが、いずれにしても、秘密保護の必要性を忘れてはなりません。

規制当局の職員および政府省庁の関係者も、昨今は在宅勤務をしており、インサイダー取引の調査も、大部分において取引のデジタル分析と同時に、実際に取引を行った者と秘密を漏洩した疑いのある者との間のデジタル通信分析により行うことができます。こういった事件こそが、リモートワークをする間に、速やかに摘発することができる事件です。上記の共同局長らの発表を踏まえると、将来的にはこういったニュースレターにおいて引用すべき事件が多数生じることが予測されます。読者の皆様の事件でないことを祈ります。引き続きどうぞ安全にお過ごし下さい。

著者について

Dixie Johnson（ワシントン DC オフィス、パートナー）は、証券関連の法執行調査において企業および個人を代理し、また法人の取締役会・委員会や会社の内部調査を行います。

証券法執行・規制[Securities Enforcement and Regulation]チーム、特殊案件・政府調査[Special Matters and Government Investigations]チームのパートナーとして、当事務所内の対政府実務 10 部署を束ねた政府事項のプラクティスグループのリーダー補佐[Deputy Practice Group Leader for Government Matters]も務めています。SEC、DOJ、FINRA、PCAOB ならびにその他の連邦および州の当局での手続に常に出席しています。

2014 年初頭に King & Spalding に加入以降、政府は、ほぼ 30 件の調査を、Dixie の依頼者を起訴することなく終了しました。

当事務所の特殊案件・政府調査実務部門について

当事務所の政府調査実務部門は、14のグローバルオフィスにおいて100名超の弁護士を擁し、この分野のプラクティスでは世界で最も大規模かつ最も評価の高い部門です。

40名を超える元連邦検事を擁する当該部門は、腐敗防止分野における重大な国際案件を含む、様々な政府調査および内部調査を専門としています。当事務所は、多岐にわたる業界のクライアントに対し、FCPAのすべての側面に関する法的助言の提供および代理人を務めており、およそ80ヶ国が関与する多国間の捜査を率いてまいりました。さらには、米国内の連邦地検93ヶ所のうち73ヶ所および米司法省の全ての訴訟部における捜査を取り扱った実績があります。また、SECおよびその全12ヶ所の支部、並びにそのすべての特別執行部署にも同席しています。

当事務所の政府調査部門の弁護士はまた、コンプライアンス問題について企業に対する助言を提供してきた豊富な実務経験を有しており、当該チームにはGlobal Fortune 100に選出された企業の元社内弁護士およびコンプライアンスの専門家が含まれています。Law360により「White Collar Practice Group of the Year」に選出されました。同実務チームは、Global Investigations Review (GIR)によっても、GIRが調査を行う年においては、常に世界有数の調査実務部門の1つにランクされています。

コロナウィルス タスクフォースについて

King & Spaldingは、件数が増加しているクライアントからの問合せに対応し当事務所の回答をお知らせするためにコロナウィルス タスクフォースを発足させました。また、このコロナウィルス タスクフォース ([こちらをクリック](#)) およびコロナウィルス事業復旧・業務再開 ([こちらをクリック](#)) のウェブサイトは新たな資料により定期的にアップデートされています。

本タスクフォースには、以下を含む、短期的および長期的なコロナウィルスの問題についてクライアントに助言することのできるチームのパートナーが含まれています。

- (i) 危機管理プラクティス：インシデント対応、戦略的立案および関連コミュニケーション、ならびに対政府対応の事項に関して。
- (ii) 国際仲裁・訴訟プラクティス：契約上の懸念事項（不可抗力、解除、執行可能性、違約金、表明保証等）およびその他の責任のリスク要因に関して。
- (iii) 保険補償プラクティス：保険による補償（D&O、CGL、イベント中止その他の保険契約）の影響、請求通知、損害証明書および軽減要因に関して。

重要な点として、本タスクフォースは、注意義務および危機管理コミュニケーションという2つの分野において世界

的に高い評価を得ている外部コンサルティング会社とも連携しています。

リソース&リンク

下記のリンクから、King & Spalding による紛争解決および危機管理の発表内容にアクセスできます。

法務アップデート

新型コロナウイルスと仕事再開：新型コロナウイルス：従業員の職場復帰時に許される手続・許されない手続

新型コロナウイルスとサイバーセキュリティ：新型コロナウイルス局面におけるサイバーレジリエンス

新型コロナウイルスと職場再開：職場再開前に雇用主が考慮すべき基準と勧告

新型コロナウイルスと接触者追跡アプリ：接触者追跡アプリ：職場安全性とプライバシー権のデリケートなバランスを保つ法律

新型コロナウイルスと仕事再開：仕事再開：環境、健康、安全に関する差し迫った疑問への回答

新型コロナウイルスと知的財産権の保護：新型コロナウイルス—破産期間中の知的財産権を保護するために今とるべき措置

新型コロナウイルスと産業施設：新型コロナウイルス：製造・産業施設のための新たな OSHA/CDC ガイダンス

新型コロナウイルスと反トラスト：米国における反トラストと新型コロナウイルス：ヘルスケア事業者のための4つの主要課題

新型コロナウイルスと仕事再開：新型コロナウイルス後の仕事再開 Q&A：設備管理者賠償責任の問題

新型コロナウイルスと労使問題：新型コロナウイルス：労使問題に関するガイド

当事務所ニュース

市場評価：King & Spalding が、Chambers Asia-Pacific の Singapore Arbitration Firm of the Year を受賞

市場評価：GIR が、国際調査事務所トップ 30 に King & Spalding を 5 年連続で選出

市場評価："Lawyer"誌、King & Spalding の担当事件を 2020 年のトップ 20 案件の 1 つに挙げる

市場評価：King & Spalding が、2019 年 American Lawyer Industry Awards にて 2 件の紛争解決賞を受賞

市場評価：Dixie Johnson が、Securities Regulation Institute のバイスチェアに選任される

コンメンタール：Dixie Johnson が、内部調査を検討している会社の社内弁護士のためのステップバイステップガイドについて考察

パートナー採用：元米国司法副長官 Rod Rosenstein が、King & Spalding のワシントン DC オフィスにパートナーとして入所

パートナー採用：国家情報元長官 Dan Coats が、当事務所のワシントンオフィスに復帰

東京オフィス 紛争解決・危機管理ニュースレター

グローバル担当者 (経歴へのリンク付き)

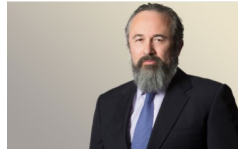
グローバル仲裁担当 主任



クリス・ベイリー
英国および日本*
東京 国際紛争 主任



エド・キホー
ニューヨーク・オフィス
米国 紛争担当 主任



ジョン・サヴェージ QC**
ロンドン・オフィス
欧州、中東およびアフリカ
紛争担当 主任



ウェイド・コリエル
シンガポール・オフィス
アジア 紛争担当 主任

アジア地域紛争担当チーム



エマソン・ホームズ
(パートナー)
英国法廷弁護士
建設



ピーター・チョウ
(パートナー)
シンガポール
トライアルおよびグローバル紛争



エロディー・デュラック
(パートナー)
フランスおよびカンボジア*
投資協定



サイモン・ダンバー
(パートナー)
ニューヨークおよび英国
商業



ピーター・ブラバント
(カウンセル)
シンガポール
トライアルおよびグローバル紛争



マヌエル・パウティスタ Jr.
(カウンセル)
ニューヨークおよびフィリピン
商業



ドニー・ロウ
(シニア・アトニー)
ニューヨークおよびオーストラリア
反トラストおよび捜査



アニシャ・スード
(シニア・アソシエート)
テキサス
トライアルおよびグローバル紛争



ケヴィン・リム
(シニア・アソシエート)
シンガポール
トライアルおよびグローバル紛争



ハンナ・アズキヤ
(アソシエート)
インドネシア
インドネシア語



デイビッド・パーク
(アソシエート)
オーストラリア
韓国語



シャオマオ・ミン
(アソシエート)
中国
マンダリン

特殊案件・政府調査担当 パートナー



ディクシー・ジョンソン
ワシントンDC



ロド・ローゼンスタイン
ワシントンDC



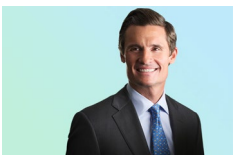
ダン・コーツ
ワシントンDC



ロバート・デッドマン
ロンドン



サリー・イエーツ
アトランタ



ザッカリー・ハーモン
ワシントンDC



ジェイソン・ジョーンズ
ワシントンDC



サモン・ダンティキ
ワシントンDC

* 外国法事務弁護士
** 勅選弁護士 (Queen's Counsel)